

# くすりは正しく使いましょう！

薬と健康の週間 10/17～10/23

《9月1日から医療費の個人負担が変わりました》

保険の種類や年齢によって少し違いますが、特に薬については次のとおり種類によって別途負担が加わります。

内服薬（1日分）	1種類 0円
	2～3種類 30円
	4～5種類 60円
	6種類以上 100円
外用薬（塗り薬・貼り薬・目薬など）	1種類 50円
	2種類 100円
	3種類以上 150円
頓服薬（痛み止め、解熱剤など一時的に使う薬）	1種類 10円

《勝手な服薬中止はリバウンド現象が恐ろしい》

ある調査では、70歳以上の外来患者は平均4～6種類の薬を使っているという結果が出ています。

日本人は薬に頼りすぎると言われますが、一般に、症状が改善してくると自己判断で止めたり、続けたりと、余った薬がどんどんたまっていくという人

が少なくありません。

薬の中でも、抗生物質は病気の元を断つことを目的とし、インスリン、ステロイドホルモン、降圧剤（血圧を下げる薬）などは、続けて飲むことで効果があるだけでなく、勝手に止めると大変危険です。例えば降圧剤は勝手に止めると飲む前より血圧が上がったり、ひどい症状が現れることがあります。（リバウンド現象）

《良い薬も毒になります》

医師から処方された薬は、原則として「止めてもいい」と言われるまできちんと飲まなければいけません。

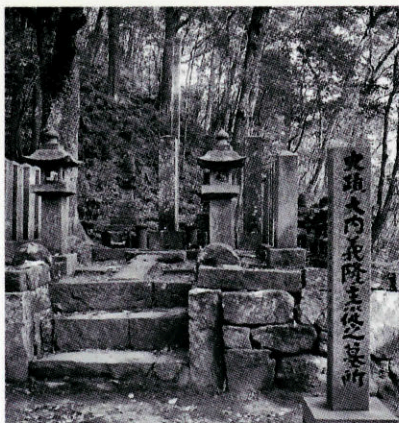
しかし、薬といっても自分の身体に合わない場合もありますから、もらっている薬の作用や疑問は遠慮せずに医師や薬剤師に相談することです。そうすることで副作用による事故や不要な薬をいつまでも飲み続けるようなムダを省くことができます。医療改正により薬にかかる自己負担もばかにならなくなります。ただでない貴重な薬、毒にもなる薬です。正しく飲み、利用しましょう。

## ながと文化財めぐり

▷19◁

### 悲運な名族の最期

## おうちよし たか しゅじゅう ぼ しょ 大内義隆主従の墓所



記念物（史跡）  
昭和42・7・4（県指定）

戦国時代、中国・九州内七か国を支配していた大内義隆。武将としてはまれな文化人であった。これが武力を重視する重臣、陶隆房（のち晴賢）らの反乱を招いた。

天文二十年（二五五二）八月末、山口を追われた義隆主従は、仙崎から海路脱出を図ったが風波に阻まれ、運命を悟った義隆は湯本大寧寺に入り自害。従臣らも戦死した。九月一日の出来事で、新暦では十月中旬ごろにあたる。

大寧寺裏山の遊仙窟に義隆主従ら三十三基の墓碑がある。

それぞれの墓碑のそばに名を刻んだ石柱が立っている。これは明治二十一年（一八八八）、旧藩主・毛利元徳の建立である。

## 表紙の説明

近松祭 in 長門97「星空の下で観るシェークスピア」が9月23日行われ、市内外から観客約2千人が訪れ、赤崎神社楽隊敷を埋めつくしました。

1部のシェークスピアの作品を題材にしたオペラ「ファルスタッフ」では、市民コーラス隊も参加、舞台を盛り上げました。

2部の狂言「法螺侍」は野村万作、NHK連続ドラママに出演した野村萬斎らが出演、ユーモラスなやりとりで会場はわき、盛んな拍手が送られました。

市職員人事異動（10月1日付）  
国近純江 保健衛生課

南野佳子 市民課  
（旧 保健衛生課）

今月の納税  
市県民税第3期  
納付期限 10月31日

市の人口（10月1日現在）  
面積 152.38 km<sup>2</sup>  
人口 25,123人（△10）  
男 11,653人（△15）  
女 13,470人（5）  
世帯数 8,944世帯（5）  
（ ）内は前月比